

1 前提

該当する地域	平坦地～中山間
設定した経営規模	初夏どりブロッコリー100a、秋冬どりブロッコリー260a、白ねぎ(秋冬)20a、水稻50a
自家労働	2人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目								○	◎	-----	□	□
2年目		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

凡例：○播種、.....育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利子率
作業場・農具舎	木・瓦	100 m ²	6,300,000	40	2,520,000	2,520,000	15	168,000	8	1,176,000	100	47,040
育苗ビニールハウス	6m×40m	1 棟	1,177,920	45	530,064	530,064	14	37,862	7	265,032	100	10,601
トラクタ	25ps 4WD	1 台	2,016,000	60	1,218,977	1,218,977	7	174,140	4	522,419	20	4,179
ロータリ	160cm	1 台	400,050	60	241,891	241,891	7	34,556	4	103,667	20	829
管理機	3.5ps	1 台	194,250	50	97,125	97,125	7	13,875	4	41,625	100	1,665
ブロードキャスター	300 ^{リットル}	1 台	266,700	45	120,015	120,015	7	17,145	4	51,435	100	2,057
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	241,500	50	120,750	120,750	7	17,250	4	51,750	100	2,070
軽トラック	660cc	1 台	850,000	50	425,000	425,000	4	106,250	2	212,500	100	8,500
合計			11,870,620		5,401,082	5,401,082		587,257		2,478,969		79,124

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
ブロッコリー	サマードーム、ピクセル、おはよ	秋冬どり	900kg	黒ぼく畑 水田転換畑	260a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
は 種	7/上～8/下	育苗トレイ(128穴) 水稻育苗箱 用土:スミソイル 覆土:パーキュライト 種子(コート) 寒冷紗	35枚 35枚 120ℓ 30ℓ 5,000粒 7㎡	は種機	○ハウス又はトンネルの雨よけ育苗。 は種前から遮光し、予めハウス内・ トンネル内の温度を下げておく。 ○セルトレイに用土を均一に詰める。 ○各穴には種穴を鎮圧板などで均一に つける。 ○は種、覆土後、かん水する。 ○発芽まではトレイを被覆し、乾燥を 抑えて、発芽を促す。		2.0	1.0	
育苗管理	7/上～8/下			動力噴霧機	○かん水は、培土が乾きすぎないように 適宜行う。		1.0	20.5	ガソリン 2.0
		液肥(育ちくん)	0.3ℓ	動力噴霧機	○は種後10～14日後から、液肥を1週 間に1回程度、施用する。				
		オルトラン水和剤	3g		○害虫防除をする。	0.3	1	0.3	ガソリン 0.2
本 ぼ 準 備	7/下～8/下	発酵鶏糞 (又は堆肥) セルカフレンド CDU燐加安S402 大山アグリユーキ	200kg (2,500kg) 120kg 80kg 40kg	プロトキャスター トラクタ・ ロータリ	○元肥は定植の2週間前に施用する。 ○耕耘・整地する。	6.0	1	6.0	軽油 10.0
						2.0	1	2.0	軽油 2.0
定 植	8/上～9/下	フォース粒剤 ランマンフロアブル キョウチ顆粒水和剤 フロンサイドSC	4kg 60cc 88g 500cc	トラクタ・ ロータリ 定植機	○防除(定植前、本ぼ施用) ○根こぶ病、害虫防除(苗箱施用) ○根こぶ病防除 ○耕耘 ○定植:株間33cm×条間70cm(4,200本) ○高温期の定植は、涼しい時間帯に行 い、たっぷりかん水しておく。		1.0 1.0 1.0 1.0	0.5 0.5 0.5 1.0	軽油 2.0
		かん水チューブ かん水器具	100m 1セット	エンジンポンプ		0.5	1	0.5	ガソリン 2.0
中 耕	8/中～10/上			管理機	○定植10日後に中耕する。	3.0	1	3.0	ガソリン 3.0
追肥・土寄せ	8/下～10/中	燐硝安加里S646	30kg	管理機	○定植20日後に追肥を行う。 ○追肥後、土寄せする。		1 2.5	0.5 2.5	ガソリン 3.0
病害虫防除	8/中～10/中	カスミンボルドー アクタラ顆粒水溶剤	150cc 67g	動力噴霧機	○軟腐病、黒腐病防除(150ℓ)	0.5	2	0.7	ガソリン 2.0
		レーバスフロアブル アタブロン乳剤	75cc 100cc	動力噴霧機	○べと病、害虫防除(150ℓ)	0.5	2.0	0.7	ガソリン 2.0
		レーバスフロアブル スビノエス顆粒水溶剤	100cc 40g	動力噴霧機	○べと病、害虫防除(200ℓ)	0.5	2	0.6	ガソリン 2.0
収穫・調製・ 出荷	9/下～3/下	収穫台車		軽トラック	○早朝に収穫する。 ○調製、箱詰めする。 ○出荷する。		1 1 10.0	30.0 20.0 10.0	ガソリン 20.0
後片づけ	4/上			トラクタ・ ロータリ	○耕耘する。	1.0	1	1.0	軽油 2.0
合 計								112.8	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	297,600	生産量① : 960 kg 単価② : 310 円/kg
	主産物価額	0	生産量 :
	主産物価額	0	生産量 :
	副産物価額④	0	
	計 (A)	297,600	
生産原価	種 苗 費	13,250	
	肥 料 費	27,880	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	16,721	"
	諸 材 料 費	11,925	"
	動力光熱費	10,045	
	農 具 費	3,898	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	1,659	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	1,555	
	共 済 掛 金	50	
	雇 用 労 賃	22,434	
	減価償却費⑤	22,587	別表のとおり
	土地改良費	4,059	
	支払地代⑥	2,895	
	小計 (B)	138,957	
費	販売費一般		
	出荷資材費	27,735	
	管理費		
	販 売 諸 費	66,269	
	諸税負担金	1,378	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	855	農業新聞購読料、電話代
支払利息⑦	385	借入資本利率2%	
小計 (C)	96,622		
経 営 費 (D)	235,579	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	121,800	農 従 労 働 時 間 : 85.3 生産管理労働時間 1.7 1,400 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	357,379	主産物単位当たり 372 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本			
流動資本利子⑨	6,688	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)			
固定資本利子	3,043	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	5,211		
全算入生産費 (H)	372,321	生産物単位当たり 388 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	62,021	時間当たり 713 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	21	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-74,721	注) (K) = ③- (H)	
家族労働報酬 (L)	47,079	時間当たり 541 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	-59,779	注) (M) = (I) -⑧	

